

医学部 看護学科(論文) 問題解説

□■ 出題意図・評価方法・評価ポイント

〔Ⅰ〕 課題文は、村上靖彦の著書『ケアとは何か』の一部です。出題範囲は、「お食い締め」という実践について、実例をもとに、人生の最期にさしかかる患者やその家族の願いがもたらす意味を記述した箇所です。看護職を目指す受験生へ、対象理解、人権の尊重、倫理観、社会的課題、問題意識、表現力、論理的思考力を問い、総合的に評価します。まず（１）では、実例における患者や家族の願いがもたらした意味を問い、特に理解力や表現力を問いました。さらに（２）は人生の最期にさしかかる患者とその家族に対する関わりについて問い、特に問題意識と論理的思考力を問うたものです。

〔Ⅱ〕 課題資料は総務省が 2023 年に公表した「令和 5 年版情報通信白書」の一部です。近年では、ウェブサービスにおけるアルゴリズムが利用者の検索履歴等を学習し、選別した情報を優先的に表示した結果、利用者が自身の観点に合わない情報から隔離されるリスクが指摘されています。本問では、これらのリスクに関連した日本人の態度を、国別・年代別の比較を通して読み取らせることで、受験生の図表読解能力を問うています。さらに、インターネットを用いて医療や健康に関する情報収集を行う際に、影響および対策を問うことで受験生の問題意識および分析力の深さを問うています。

□■ 受験生へのメッセージ

両課題は、今日の保健医療福祉の分野に関する課題への問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に問うたものです。看護職を目指す受験生には、日頃より、国内外の保健医療福祉の分野におけるさまざまな課題に対する問題意識や関心を持つとともに、それらに対する自己の考えについて十分深めておくことを期待します。